

～新型コロナウイルスの感染拡大への対応について～

オミクロン株は多くが軽症ですが、基礎疾患のある児や高齢者は重症化リスクがあり、市民全体で感染対策を徹底することが重要です。

また、必要な医療体制を維持するため、症状なく心配だけで医療機関を受診することは避け、症状がある場合には診療時間内に（必要なら電話連絡の上）受診してください。

現在、総社市近隣では、大人が家庭にウイルスを持ち帰り、大人から子どもへ感染し、その後に子どもが保育園、学校に持ち込む感染経路が主体と思われます。まだ、保育園、幼稚園、学校で、子どもから子どもに感染し、家庭に持ち込んでいる例は少ないと考えています。

（参考）

- 小児科外来・発熱外来で、新型コロナ感染（オミクロン株）を疑うポイントは次のとおり。
 - ① 家庭内の大人（両親や祖父母）に発熱、風邪症状がある。
 - ② 子どもと家族の周囲に新型コロナウイルス患者や濃厚接触者がいる。
- なお、新型コロナ感染（オミクロン株）は、普通の“かぜ”と見分けがつかありませんが、多くは「37.5℃以上の発熱（1～2日）、軽いせき・はな、のどの痛み、頭痛」があります。

令和4年1月26日

吉備医師会 感染症対策委員長 高杉尚志